

2点 $\left(-\frac{\sqrt{2}}{2}, \frac{\sqrt{2}}{2}\right), \left(\frac{\sqrt{2}}{2}, -\frac{\sqrt{2}}{2}\right)$ を直径の両端とする円を C とし、点 $(1, -2)$ を通り傾きが -1 である直線を L とする。円 C と直線 L の交点を $A(x_1, y_1), B(x_2, y_2)$ とし、円 C の円周上に点 $P(x_3, y_3)$ をとる。円 C の中心を D とし、 x 軸の正の部分と線分 DP のなす角を θ とする。また、 $x_1 < x_2, y_3 > -1 - x_3, 0 \leq \theta < 2\pi$ とする。次の各問に答えなさい。

(1) (i) 円 C と直線 L の方程式をそれぞれ求めなさい。

(ii) 点 A と点 B の座標をそれぞれ求めなさい。

(iii) 線分 AB の長さと $\angle APB$ の大きさを求めなさい。

(iv) θ の値の範囲を求めなさい。

(2) $\sin \theta$ を用いて以下の (i), (ii), (iii) を表しなさい。

(i) 点 P の座標

(ii) 線分 AP と線分 BP の長さ

(iii) 三角形 APB の面積

(3) $\sin 2\theta + 2 \sin \theta = 0$ とする。

(i) θ の値を求めなさい。

(ii) 三角形 APB の内接円の半径と中心の座標を求めなさい。

(18 帯広畜産大 1)

【答】

(1) (i) $C: x^2 + y^2 = 1, y = -x - 1$

(ii) $A(-1, 0), B(0, -1)$

(iii) $AB = \sqrt{2}, \angle APB = \frac{\pi}{4}$

(iv) $0 \leq \theta < \pi, \frac{3\pi}{2} < \theta < 2\pi$

(2) (i) $P(\cos \theta, \sin \theta)$

(ii) $AP = \sqrt{2 + 2 \cos \theta}, BP = \sqrt{2 + 2 \sin \theta}$

(iii) $\frac{\sqrt{2}}{2} \sqrt{(1 + \sin \theta)(1 + \cos \theta)}$ (あるいは $\frac{1}{2} |1 + \sin \theta + \cos \theta|$)

(3) (i) $\theta = 0$

(ii) 半径 $\sqrt{2} - 1$, 中心の座標 $(0, 1 - \sqrt{2})$

【解答】

(1) (i) 円 C は 2 点 $\left(-\frac{\sqrt{2}}{2}, \frac{\sqrt{2}}{2}\right), \left(\frac{\sqrt{2}}{2}, -\frac{\sqrt{2}}{2}\right)$ を直径の両端とする円であるから、中心 D は 2 点を結ぶ線分の中点であり、その座標は $(0, 0)$ である。半径は 2 点を結ぶ線分の長さの $\frac{1}{2}$ であるから

$$\frac{1}{2} \sqrt{\left(-\frac{\sqrt{2}}{2} - \frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2 + \left(\frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2} = \frac{1}{2} \sqrt{2+2} = 1$$

である。よって、円 C の方程式は

$$C: x^2 + y^2 = 1$$

……(答)

である。

また、点 $(1, -2)$ を通り傾きが -1 である直線 L の方程式は

$$y = -(x-1) - 2 \quad \therefore \quad L: y = -x - 1 \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (ii) $A(x_1, y_1), B(x_2, y_2)$ ($x_1 < x_2$) は円 C と直線 L の交点であるから

$$\begin{cases} x^2 + y^2 = 1 \\ y = -x - 1 \end{cases} \iff \begin{cases} y = -x - 1 \\ x^2 + (-x - 1)^2 = 1 \end{cases}$$

$$\begin{cases} y = -x - 1 \\ 2x^2 + 2x = 0 \end{cases} \therefore \begin{cases} y = -x - 1 \\ x = -1, 0 \end{cases}$$

$x_1 < x_2$ より

$$\mathbf{A(-1, 0), B(0, -1)} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (iii) 線分 AB の長さは

$$AB = \sqrt{(-1)^2 + 1^2} = \sqrt{2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。また、円周角の定理により

$$\angle APB = \frac{1}{2} \angle ADB = \frac{\pi}{4} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (iv) 円 C の円周上の点 $P(x_3, y_3)$ は $y_3 > -1 - x_3$ を満たすから、 P は円 C の円周かつ直線 L の上側の部分にある。よって、 θ ($0 \leq \theta < 2\pi$) の値の範囲は

$$0 \leq \theta < \pi, \frac{3\pi}{2} < \theta < 2\pi \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (2) (i) $\mathbf{P(\cos \theta, \sin \theta)}$ (答)

- 問題文は「 $\sin \theta$ を用いて」となっている。これに従うと P の座標は

$$\begin{cases} 0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}, \frac{3\pi}{2} < \theta < 2\pi \text{ のとき} & P(\sqrt{1 - \sin^2 \theta}, \sin \theta) \\ \frac{\pi}{2} < \theta < \pi \text{ のとき} & P(-\sqrt{1 - \sin^2 \theta}, \sin \theta) \end{cases}$$

となる。(ii), (iii) でもこの場合分けが続くのは煩わしいので、「 θ を用いて」と解釈して解答することにした。

- (ii) 距離の公式より

$$AP = \sqrt{(\cos \theta + 1)^2 + \sin^2 \theta} = \sqrt{2 + 2 \cos \theta} \quad \dots\dots(\text{答})$$

$$BP = \sqrt{\cos^2 \theta + (\sin \theta + 1)^2} = \sqrt{2 + 2 \sin \theta} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (iii) (1)(iii), (2)(ii) より

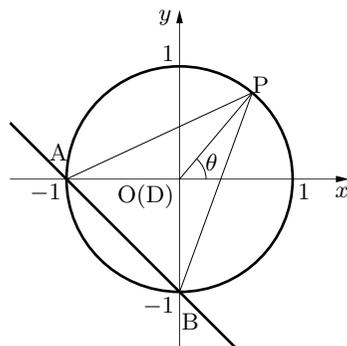
$$\begin{aligned} \triangle APB &= \frac{1}{2} AP \cdot BP \sin \angle APB \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{2 + 2 \cos \theta} \sqrt{2 + 2 \sin \theta} \sin \frac{\pi}{4} \\ &= \frac{\sqrt{2}}{2} \sqrt{(1 + \sin \theta)(1 + \cos \theta)} \quad \dots\dots \textcircled{7} \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

である。

- $\overrightarrow{AP} = (\cos \theta + 1, \sin \theta), \overrightarrow{AB} = (1, -1)$ であるから

$$\triangle APB = \frac{1}{2} |-(\cos \theta + 1) - \sin \theta| = \frac{1}{2} |1 + \sin \theta + \cos \theta| \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

としてもよい。



- ㉞ と ㉟ が一致することを確かめておく.

$$\begin{aligned}
 \text{㉟} &= \frac{1}{2} \sqrt{(1 + \sin \theta + \cos \theta)^2} \\
 &= \frac{1}{2} \sqrt{1 + \sin^2 \theta + \cos^2 \theta + 2(\sin \theta + \sin \theta \cos \theta + \cos \theta)} \\
 &= \frac{1}{2} \sqrt{2 + 2(\sin \theta + \sin \theta \cos \theta + \cos \theta)} \\
 &= \frac{\sqrt{2}}{2} \sqrt{1 + \sin \theta + \sin \theta \cos \theta + \cos \theta} \\
 &= \frac{\sqrt{2}}{2} \sqrt{(1 + \sin \theta)(1 + \cos \theta)} \\
 &= \text{㉞}
 \end{aligned}$$

である.

$$(3) \quad \sin 2\theta + 2 \sin \theta = 0 \quad \dots\dots \text{㉠}$$

(i) ㉠ を解く.

$$\begin{aligned}
 2 \sin \theta \cos \theta + 2 \sin \theta &= 0 \\
 \sin \theta (\cos \theta + 1) &= 0 \\
 \sin \theta = 0, \quad \cos \theta &= -1
 \end{aligned}$$

(1)(iv) より $0 \leq \theta < \pi$, $\frac{3\pi}{2} < \theta < 2\pi$ であり

$$\theta = 0$$

……(答)

である.

(ii) $\triangle APB$ の内接円の半径を r とおく. r と $\triangle APB$ の面積は次の関係式が成り立つ.

$$\triangle APB = \frac{1}{2} (AP + PB + BA)r$$

$\theta = 0$ のとき, $P(1, 0)$ であるから

$$\frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 1 = \frac{1}{2} (2 + \sqrt{2} + \sqrt{2})r$$

$$1 = (1 + \sqrt{2})r$$

$$\therefore r = \frac{1}{1 + \sqrt{2}} = \sqrt{2} - 1 \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

また, $\triangle APB$ の内接円の中心の座標は, y 軸に関する対称性により, $(0, -r)$ であるから

$$(0, 1 - \sqrt{2})$$

……(答)

である.

